

たいにい・ぼっくす あさひ 自己評価アンケート結果

以下の質問事項について、あてはまるマスに○をし、改善目標・工夫点等を記入してください。

1. 環境・体制整備

	質問事項	はい	いいえ	改善目標、工夫点等
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	車椅子、座位保持利用者が複数利用の日は狭く感じることがある。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	職員のスキルの差を感じる。その差を縮める機会を増やしたい。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	“バリアフリー”について適切な知識スタッフ間で共有し、利用者に合わせてハード面及びソフト面を整えます。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	子どもの特性に合わせて、安全に過ごせるよう都度調整で来ている。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要時、静養室が使用できている。

2. 業務改善

	質問事項	はい	いいえ	改善目標、工夫点等
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	日誌、連絡会、モニタリング会議、支援計画書の作成について、全スタッフが参加、意見交換をしています。
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者様に運営評価を行っていただき、その意見やフィードバックを全スタッフに共有し、会議を通じて業務の改善について話し合っている。
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	定例会議にて、意見交換等を行っている。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	各事業所の自治会長と保護司の3名を第三者委員として設置しています。年2度の事業所報告を行い、評価してもらっています。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	月に1回、事業所内研修を実施しています。また、外部研修について、個別に参加の任命をしています。

3. 適切な支援の提供

	質問事項	はい	いいえ	改善目標、工夫点等
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	利用開始時及び半年に1回の保護者様との面談にてアセスメントを行い、放課後等デイサービス毛核を作成している。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	定例会議は全職員が参加し、PDCAサイクルに基づいて共通理解を行い、支援を検討している。

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画書の更新前に全職員に周知し、計画に沿った支援を行うよう努めている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	フォーマルアセスメントについて、各ご家庭に任せており、また、事業所から検査結果を求めることはしていない。インフォーマルアセスメントについて、ご家庭からの聞き取り確認をしている。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、また、ご本人とご家族の意向を踏まえ支援内容を設定している。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	担当の役割分担を行い、全職員が協力しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	工夫はしているが、複数職員がアイデアを出し合い、変化のあるプログラムを考えたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	タスク、SST、ストレッチ等個別に目標と支援方法の計画を立てて行っています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	支援開始前に連絡会を実施しています。支援の内容や役割等の確認をしています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	共有した内容を支援で実践できていない場合がある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録の書き方について、共通認識をもってあります。モニタリングにて支援の検証改善の検討を行っています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	月に1度、全職員による会議を行っています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画できる活動」の4つに全てにおいて、組み合わせて支援を行っている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	外出、創作、おやつ提供方法、レクリエーションなどの活動において、自己選択自己決定の機会を取り入れ支援を行っている。

4. 関係機関や保護者との連携

	質問事項	はい	いいえ	改善目標、工夫点等
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理者が参加することになっている。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	児童発達支援管理者を中心に支援体制を整えている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	送迎時に申し送り事項はないか確認をしている。また、必要に応じてケース会議等の実施の要望をしいる。学校によって、連絡調整が困難なケースがある。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	利用前の相談時、現在利用している機関があれば連絡し情報提供を求めている。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	サービス移行の際、これまでの支援内容をまとめた資料（サポートシート）を提供する等の情報提供を行っている。

31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	具体的な連携はない。将来、センターの相談支援事業所が無くなるとのことで、その機会がさらに減少すると思われる。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	交流の場として計画した事例はありません。利用者のご家族の意向を踏まえ、目的やプロセスに適切な配慮を怠らず、検討いたします。
33	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	相模原市において、参加の手段が限定されています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	連絡ノートを活用し、また、送迎時に口頭でお伝えしています。必要に応じて電話連絡をしている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	茶話会で話題になった内容に関しては、資料をまとめて提供している。

5. 保護者への説明責任等

	質問事項	はい	いいえ	改善目標、工夫点等
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時、1時間ほどかけて説明を行っている。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	最低半年に一度の面談を実施し、利用者とそのご家族の意向を確認している。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	最低半年に一度の面談を実施し、同意を得ている。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	最低半年に一度の面談と茶話会を実施し、助言などの支援を行っている。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	2ヶ月に1回程度、茶話会を実施している。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情があった際、苦情内容を規定のフォームを利用して報告しています。スタッフ間連絡ノート及び会議にて周知適切な対応を立てるように努めている。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	月に1度、通信を発行しホームページにて公開しています。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	スタッフ雇用時に個人情報の取り扱いについて徹底指導をし、随時、注意喚起しています。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	点字、マカトンサイン等、スタッフ全員が情報伝達の手段を共有し円滑なコミュニケーションを図っています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	第三者委員会専任の自治会長にイベントの参加を依頼している。また、自治会のお祭りに出店している。小規模事業所のため、招待等のイベント・行事の実施が困難である。

6. 非常時等の対応

	質問事項	はい	いいえ	改善目標、工夫点等
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し年に1度見直しをしています。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年に1回、業務継続計画マニュアルを見直し、訓練をしている。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	予防接種に関して、保護者に情報共有を求めている。
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書が必要なケースはない。アセスメントシートにて、アレルギーについて情報を集約し、対応についてもマニュアル化してある。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、定例会議にて、適切に実施されているか評価と報告を行っている。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4	茶話会などの場にて予定している。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	支援終了時、ヒヤリハット報告の有無を確認し、作成する時間を設け、全職員に共有及び改善の検討を行っている。また、法人内で情報を共有している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	年に一回、研修を設け、また虐待防止委員会の議事録を用いて定例会議にて全職員に周知している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」と「一時性」「非代替性」「切迫性」を踏まえ、定例会議にて評価している。放課後等デイサービス計画に必ず記載し、利用者のご家族の同意を得ている。